

# 11 各種選挙投票状況

(単位:人,%)

区 分			選挙当日有権者数			投票者数			投票率			備 考
選挙の別	執行年月日		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市 長	平成24年7月8日	常総市	25,254	25,837	51,091	14,713	15,741	30,454	58.26	60.92	59.61	
市 議	平成23年4月24日	常総市	25,367	25,940	51,307	15,639	16,758	32,397	61.65	64.6	63.14	
県知事	平成21年8月30日	常総市	25,546	26,191	51,737	17,429	17,578	35,007	68.23	67.11	67.66	
県 議	平成22年12月12日	常総市	25,494	26,903	51,587	12,423	13,078	25,501	48.73	50.12	49.43	常総市選挙区
		八千代町	9,262	9,391	18,653	4,042	3,901	7,943	43.64	41.54	42.58	
県議補欠	平成22年2月28日	常総市	16,187	16,651	32,838	7,015	7,320	14,335	43.34	43.96	43.65	水海道市選挙区
衆議院	平成21年8月30日	常総市	25,727	26,353	52,080	17,443	17,598	35,041	67.8	66.78	67.28	小選挙区
			25,727	26,353	52,080	17,440	17,597	35,037	67.79	66.77	67.28	比例区
参議院	平成22年7月11日	常総市	25,615	26,324	51,939	13,099	12,594	25,693	51.14	47.84	49.47	選挙区
			25,615	26,324	51,939	13,099	12,594	25,693	51.14	47.84	49.47	比例区
国民審査	平成21年8月30日	常総市	25,708	26,332	52,040	17,058	17,200	34,258	66.35	65.32	65.83	

資料:総務課

## 回復してきた投票率

1票の重みの地域格差や金権政治などの問題に対応して、1994年1月、公職選挙法改正を含む政治改革関連4法が成立した。この結果、1996年10月の衆議院選挙から小選挙区比例代表並列制が導入され、さらに2000年6月選挙から比例代表制による議員の数は180名に削減された。選挙区の区割りも見直しが行われ、1983年総選挙時点では4.40倍もあった1票の最大格差が2002年改定では2.06倍となった。参議院選挙においても、2001年に定数が242人に削減されるとともに、非拘束名簿式が導入された。また、在外投票制度や期日前投票制度など、有権者が投票しやすい仕組みも取り入れられてきた。

これらの改善が行われたこともあって、90年代に入り低下する傾向にあった国政選挙の投票率は、2005年の衆議院選挙では、67.5%と前回は7.6ポイント上回り、「政権選択」を争点に争われた2009年の選挙ではさらに上昇して69.3%となった。また、参議院選挙では、1995年に44.5%まで低下したが、その後上昇し50%台後半で推移している。2010年の参議院選挙は、57.9%と2007年(58.6%)からやや低下した。

2010年の参議院選挙の投票率を県別に比較すると、島根県、鳥取県、福井県が高く、沖縄県、宮城県、広島県が低かった。

(財)日本統計協会「統計でみる日本2012」より